

明治十七年十二月改定

東京商船學校規則

特51

711

目次

第一章	總則	一丁
第二章	教科	二丁
第三章	學年休業	五丁
第四章	試驗	七丁
第五章	入學	九丁
第六章	退校	十三丁
第七章	自費貸費	十四丁

以上

東京商船學校規則

第一章

總則

第一條

東京商船學校ハ農商務省ノ所管ニシテ航海科及機關科ノ生徒ヲ教育スル所ナリ

第二條

本校生徒トナルヘキ者ハ海軍豫備員志願ノ者ニ限ル

第三條

生徒卒業ノ後ハ航海科ニ在テハ商船ノ船長運轉手機關科ニ在テハ機關手ノ業務ニ從事スヘキモノトス

第四條

生徒卒業ノ後ハ海軍士官或ハ准士官ノ豫備員トシテ海軍兵籍ニ編入シ海軍一定ノ規則ニ據リ服役セシムルモノトス

第二章 教科

第五條

生徒修業ノ期ハ五ケ年ト定ム

第六條

航海科生徒ノ學フヘキ課程ヲ分テ五級トナス其第五級ヨリ第二級ニ至ル迄ハ本校ニ在テ每級六ケ月以内ニ左ニ掲クル學科ヲ學ハシム

但シ砲術ノ一科ハ海軍兵學校ニ於テ之レヲ教授ス

第五級

第四級

和漢學

英學

數學

運用術

砲術

第三級

第二級

航海術

運用術

砲術

四

其第一級ハ航海船ニ乗組ミ滿二ケ年間航海ノ實科ヲ修業セシム

第七條

機關科生徒ノ學フヘキ課程ヲ分テ四級トナス其第四級ヨリ第三級ニ至ル迄ハ本校ニ在テ每級六ヶ月以内ニ左ニ掲クル學科ヲ學ハシム

但シ砲術ノ一科ハ海軍兵學校ニ於テ之レヲ教授ス

第四級

第三級

和漢學

英學

數學

機關學

製圖

砲術

其第二級ハ機關場ニ在テ滿二ケ年間機械製作ノ實科ヲ修業セシム

其第一級ハ航海船ニ乗組ミ滿一ケ年間機關運轉ノ業ヲ修メシム

第三章

學年休業

第八條

學年ハ九月一日ニ始マリ翌年七月二十日ニ終ル

第九條

五

學年ヲ分テ二學期トス第一學期ハ九月一日ヨリ二月二十日ニ至リ  
第二學期ハ二月二十一日ヨリ七月二十日ニ至ル

第十條

冬期休業ハ十二月二十五日ヨリ一月十日迄トシ夏期休業ハ七月二十一日ヨリ八月三十一日迄トス

第十一條

日曜日並左ニ掲クル祭日祝日ハ休業トス

秋季皇靈祭 九月廿三日

神嘗祭 十月十七日

天長節 十一月三日

新嘗祭 十一月二十三日

孝明天皇祭 一月三十日

紀元節 二月十一日

春季皇靈祭 三月二十一日

神武天皇祭 四月三日

第四章 試驗

第十二條

試驗ハ小試驗中試驗大試驗ノ三種トス

第十三條

小試験ハ毎月末ニ於テ之レヲ施行シ其得點ノ多寡ニ應ンテ中試験  
ノ得點ハ増減ヲ與ヘ且生徒ノ座次ヲ定ムルモノトス

但シ砲術ハ一教科ノ終リニ於テ試験スルモノトス

八

#### 第十四條

中試験ハ毎學期ノ終リニ於テ之レヲ施行シ其合格者ニハ及第證書ヲ授與スルモノトス

#### 第十五條

大試験ハ全科修了ノ後之レヲ施行シ其合格者ニハ卒業證書ヲ授與スルモノトス

#### 第十六條

大試験及中試験ハ其得點ノ數航海運用機關ノ三科ニ於テ全點ノ五分三砲術ニ於テ五分二其他ノ學科ニ於テ三分一以上ヲ得而シテ其得點ヲ合算シ全點ノ五分三以上ニ至ルヲ及第トス

#### 第十七條

大試験ニ落第セシ者ハ若干月復習ヲ命シ再試験ヲ施行ス

#### 第十八條

中試験ニ落第セシ者ハ原級ニ止メテ復習セシム

但シ貸費生落第スルコト一回ニ及フキハ及第スル迄經費金ハ自辨セシム

#### 第十九條

中試験又ハ大試験ノ得點數最モ多ク且平素格別ニ品行端正ノ者ニハ褒賞ヲ附與ス

### 第五章

#### 入學

第二十條

入學ノ期ハ毎年二月七月ノ兩度トス

第二十一條

入學ヲ許スベキ者ハ左ノ三項ニ適合シ且體格檢査及學科試驗ニ合格セル者ニ限ル

第一 年齡十七年以上二十三年以下ノ者

第二 品行端正且貳人以上ノ保証人アル者

第三 在學中家事ニ係累ナキ者

第二十二條

學科試驗ノ科目ハ左ノ如シ

第一 英 學 會話 書取 和英復文 歷史及物理講義

第二 數 學 算數學 代數學 幾何學

第三 和漢學 史類及文集類講義

第四 作 文 記事及尺牘

第二十三條

體格檢査ハ海軍尉官及本校幹事臨席シ海軍醫官之レヲ行フ而シテ合格ノ者ニアラサレハ學科試驗ヲ行フヲナシ

第二十四條

學科試驗ハ校長及海軍尉官臨席シ本校教官之レヲ行フ

第二十五條

入學志願者ハ甲號書式ノ入學願書及乙號書式ノ學業履歷書ヲ出ス  
ヘシ



第二十六條

入學ノ許可ヲ得タル者ハ丙號書式ノ誓書ヲ出シ又自費生ハ丁號書式貸費生ハ戊號書式ノ証書ヲ出スヘシ

第二十七條

保証人ハ丁年以上ニシテ東京府下ニ居住シ且其府下ニ於テ地所若クハ家屋ヲ所有スル者ニ限ル

第二十八條

保証人府外へ轉住シ又ハ地所家屋ノ所有權ヲ失シ或ハ死亡スルキハ保証人ヲ更定スヘシ

第二十九條

保証人旅行等ヲ爲スルハ代理者ヲ立ツヘシ

第六章 退校

第三十條

生徒ハ自費貸費ヲ問ハス中途退校ヲ出願スルヲ許サス

但シ一家ノ安危ニ係ル事故アルモノハ願書ニ其事由ヲ詳記シ親

族保証人連署ノ上在籍區戸長ノ奥書証印ヲ受ケ出願スルヲ得

第三十一條

生徒ニシテ左項ノ一ニ該ル者ハ直チニ退校ヲ命ス

第一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

第二 品行不良或ハ怠惰ニシテ屢校則ヲ犯ス者

第三 小試験ノ成績屢不良ニシテ卒業ノ日途ナキ者

第四 中試験又ハ大試験ニ於テ落第三回ニ及フ者

第五 傷痍疾病ニ罹リ前途ノ目的ナキ者

第三十二條

貸費生徒ニシテ第三十條第三十一條ニ據リ退校スル者ハ其貸與金  
ヲ一時ニ還納スヘシ若シ本人還納シ能ハサルキハ保証人ヨリ辨償  
スヘシ

第七章 自費貸費

第三十三條

自費生ハ在學中ノ經費都テ之レヲ自辨シ貸費生ハ之レヲ本校ヨリ  
貸與スルモノトス

第三十四條

生徒ノ經費ハ自費貸費ヲ問ハス一ヶ月凡金八圓ト定ム

但シ實地派遣中食費或ハ報酬金ヲ其船舶若クハ機關場等ヨリ支  
給セシムヘキ定約ヲナシタル生徒ハ本條經費金ノ内若干ヲ減縮  
スルコトアルヘシ

第三十五條

自費生ハ毎月五日金八圓ヲ納ムヘシ而シテ會計年度ノ終リニ於テ  
収支ヲ精算シ過金アルキハ之レヲ返附シ不足スルキハ之レヲ納メ  
シム

第三十六條

貸費生在學中又ハ卒業ノ後死亡シ或ハ業務上ノ爲メ廢疾不具トナ  
ル者ハ貸與金ヲ還納スルニ及ハス

第三十七條

貸費生卒業ノ後貸與金ノ還納ヲ了ル迄本校ノ指命ニ遵ヒ船舶ニ乗組ミ若クハ之レニ關スル業務ニ從事シ毎月俸給高五分一以上ノ金額ヲ以テ其貸與金ヲ還納スヘシ若シ本人ヨリ納附シ能ハサルキハ保証人之レヲ辨償スヘシ

但シ事故アリテ船舶ニ關セサル業務ニ從事スルキハ其貸與金ハ一時ニ還納スヘシ

甲號入學願書式

用紙美濃紙四ツ切

入學願

私儀(自費) (航海機關)ナ以テ學科修業志願ニ付御試驗ノ上入學御許可被成下度學業履歷書相添此段奉願候也

某(府) (士)族平民

某國某(區)某(町)何番地住某子弟或ハ附籍

東京府下某(區)某(村)何番地寄留或ハ某同居

年月日

何 某 印

何年何月生

東京商船學校長某殿

乙號學業履歷書式

用紙美濃紙二ツ折

學業履歷書

某(府) (士)族平民某子弟或ハ附籍

何 某

何年何月生

一 實地(航海機關)ノ業ニ從事ノ有無

一 諸學校免狀所有ノ有無

一 和漢學 何年何月ヨリ何年何月迄幾年間 官私 立何學校ニ於テ某ニ就キ何々ヲ學ブ

一 數 學 何年何月ヨリ何年何月迄幾年間 官私 立何學校ニ於テ某ニ就キ何々ヲ學ブ

一 英 學 正則何年何月ヨリ何年何月迄幾年間 官私 立何學校ニ於テ某ニ就キ何々ヲ學ブ  
變則同

右之通相違無之候也

右

年月日

何 某 印

東京商船學校長某殿

丙號誓書式

用紙美濃紙二ツ折

印紙貼用

今般私儀志願之通入學御許可相成候ニ就テハ御規則嚴重ニ相  
守受業勉勵可致ハ勿論卒業ニ至ルマテ決シテ退校等仕間敷且  
卒業ノ後ハ誓テ海軍豫備員ニ服役可仕候依テ誓約如此候也

某(府)族平民

某國某(區)某(町)何番地住某子弟或ハ附籍

年月日

何 某 印

何年何月生

東京商船學校長某殿

前書何某今般入學御許可相成候ニ就テハ御規則嚴重ニ爲相守

且本人ニ關スル一切ノ事件ハ私共引受可申仍テ保証仕候也

某(縣府)族平民

東京府下某(郡區)某(村町)何番地

年月日

保証人

何

某 印

全

全

全

何

某 印

前書保証人何某者丁年以上ニシテ當(郡區)内ニ住シ且(地所)家屋ヲ有スル者ニ相違無之候也

何(郡區)

役

所

印

前書保証人何某者丁年以上ニシテ當(郡區)内ニ住シ且(地所)家屋ヲ有スル者ニ相違無之候也

何(郡區)

役

所

印

丁號自費生証書式

用紙美濃紙ニツ折

印紙貼用

私儀自費ヲ以テ入學御許可相成候ニ就テハ諸經費金トシテ卒業迄毎月五日限り金八圓宛屹度上納可仕尤モ會計年度ノ終ニ於テ收支御精算ノ上過不足ヲ生シ候ハ、過金ハ御返附被下不足金ハ速ニ上納可仕若シ之ヲ怠リ候節ハ保証人ヨリ辨納可仕候依テ証書如此候也

某(府)族平民

某國某(區)某(町)何番地住某子弟或ハ附籍

年月日

本人

何

某 印

何年何月生

某(府)族平民

東京府下某(區)某(町)何番地

保證人

何

某 印

全

全

全

何

某 印

東京商船學校長某殿

本人並保証人共向後換籍轉宿又ハ改印候節ハ速ニ御届可仕候

也

區郡役所ノ奥書前ニ全シ

戊號貸費生証書式

用紙美濃紙ニツ折

印紙貼用

私儀貸費ヲ以テ入學御許可相成候ニ就テハ借用經費金ノ儀ハ都テ御規則ニ遵ヒ還納可仕萬一本人還納シ能ハサルハ保証人ヨリ屹度辨納可仕候依テ証書如此候也

某(府)族平民

某國某(區)某(町)何番地住某子弟或ハ附籍

年月日

本人

何

某 印

何年何月生

某(府)(士)族平民

東京府下某(郡)(區)(某)(町)何番地

保證人

何

某

印

全

全

全

何

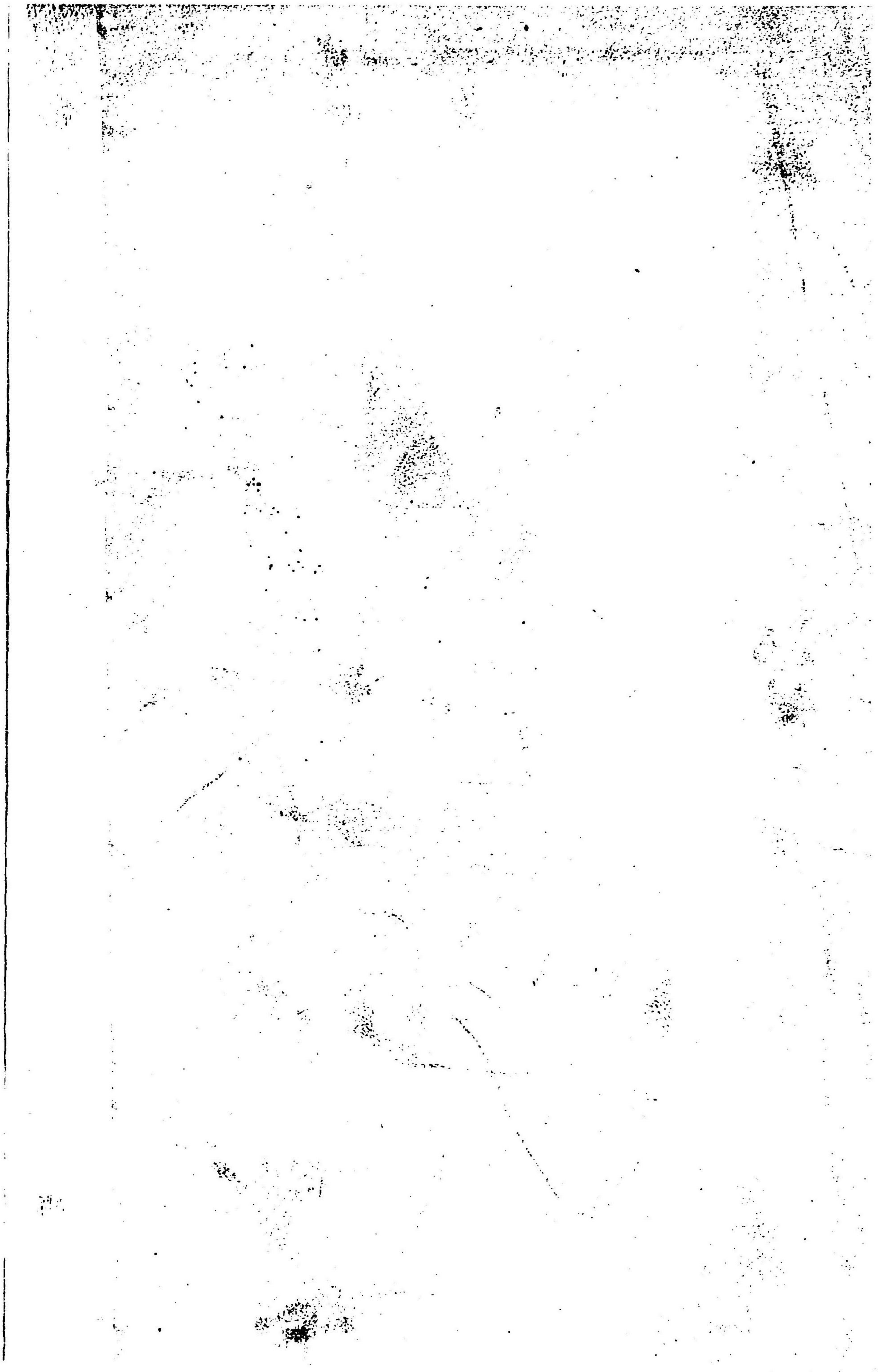
某

印

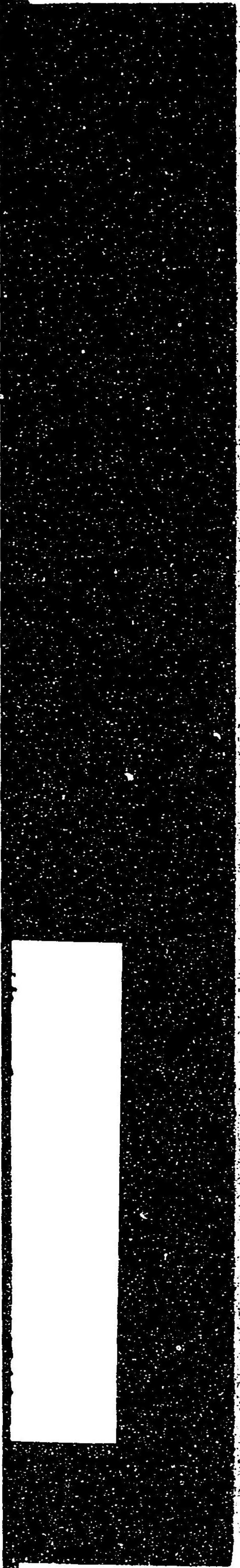
東京商船學校長某殿

本人並保証人共向後換籍轉宿又ハ改印候節ハ速ニ御届可仕候也

區郡役所ノ奥書前ニ全シ







特51

711

東京商船学校規則

国立国会図書館

048864-000-4

特51-711

東京商船学校規則

東京商船学校

M17

BEJ-0578

